

- 問1 3世紀後半から6世紀にかけて、北は東北地方から南は九州地方まで、日本列島の広範囲にわたって鍵穴のような独特な形をした巨大な墓が築造されました。このような墓が各地に共通して造られた背景として、当時の政治状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 大和地方の人口が急激に増加したため、有力な豪族が新天地を求めて東北や九州へ集団移住した際の住居の跡地である。
2. 大陸から渡来した人々が、最新の土木技術を日本各地の民衆に広めるための記念碑として、公共事業の一環で築造した。
3. ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。
4. 仏教の伝来とともに、日本全国の豪族が共通の宗教儀礼を行うための寺院の土台として、同じ形状で設計された。
- 問2 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。
2. 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。
3. 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。
4. 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。
- 問3 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 円墳
2. 方墳
3. 前方後円墳
4. 装飾古墳
- 問4 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 漢字
2. カタカナ
3. ひらがな
4. ローマ字
- 問5 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。
2. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。
3. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。
4. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。
- 問6 古墳時代に普及した「須恵器」の製作方法や特徴に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 野焼きによって比較的低い温度で焼かれ、表面が赤褐色をしている。
2. 木版印刷の技術を応用して表面に色が塗られ、庶民の間で流行した。
3. 密閉された穴窯などを用いて高温で焼かれ、硬く灰色をしている。
4. 表面に複雑な縄の模様がつけられ、主に祭祀用の道具として用いられた。
- 問7 古代、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々は、仏教とともに漢字を日本へ伝えました。この、大陸から移住して日本列島の文化や政治に大きな影響を与えた人々を何と呼びますか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 御家人
2. 渡来人
3. 防人
4. 遣隋使
- 問8 古墳が作られていた時代に、中国大陆や朝鮮半島から移り住んできた人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 九州北部の防備にあたるとともに、防人として東国から徴集された。
2. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。
3. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。
4. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。
- 問9 中国の歴史書『宋書』倭国伝には、5世紀に中国の南朝へ相次いで使者を送り、自身の地位を認める称号を求めた「讃・珍・濟・興・武」という5人の王が登場します。これらの王を総称して何と呼びますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 渡来人
2. 遣隋使
3. ヤマトの大王
4. 倭の五王
- 問10 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 隋
2. 北朝
3. 唐
4. 南朝
- 問11 5世紀ごろに大和政権の政治的影響力が日本各地に及んだことを示す、近畿地方を起点に全国へ普及した円形と方形を組み合わせた形状の古墳を何と呼ぶか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 方墳
2. 円墳
3. 前方後円墳
4. 装飾古墳
- 問12 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子
2. ワカタケル大王
3. 卑弥呼
4. 聖徳太子
- 問13 古墳時代、朝鮮半島から伝えられた技術を用いて作られた土器があります。斜面を利用した穴窯（あながま）の中で、1000度以上の高温で焼き締められた、灰色で硬質な特徴を持つ土器の名称を答えなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 縄文土器
2. 土師器
3. 弥生土器
4. 須恵器
- 問14 4世紀から5世紀にかけて、朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、さらには須恵器の製作技術や鉄器の製造といった高度な文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 遣唐使
2. 部民
3. 防人
4. 渡来人

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。	前方後円墳という特定の形状が日本各地に広がった事実は、当時のヤマト王権を中心とした政治的な連合が広範囲に及んでいたことを示しています。各地の有力な豪族は、ヤマト王権の支配体制に組み込まれることで、その象徴である前方後円墳を築く許可を得て、自身の支配権を正当化しました。渡来人の技術は築造に関わっていますが、目的は公共事業ではありません。また、古墳は住居ではなく墓であり、仏教伝来以前の文化です。
問2	答え 1 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。	3世紀後半から4世紀ごろになると、近畿地方の有力な豪族たちが中心となり、各地の勢力を結びつけた政治的な連合体が成立しました。これが大和政権（ヤマト王権）であり、その成立と発展は、各地に共通の形式を持つ巨大な古墳が築かれるようになったことから裏付けられます。弥生時代の小国が乱立し、争いを繰り返していた段階から、より広範な地域を統括する仕組みへと移行した重要な時期といえます。
問3	答え 3 前方後円墳	この形状の墳墓は、古墳時代を象徴する代表的な形式です。4世紀から5世紀にかけて特に巨大なものが増えるようになり、近畿地方を拠点とする勢力の強大さを示すものと考えられています。全国各地に同じ形式の古墳が広まったことは、当時の政治体制を知る重要な手がかりとなります。
問4	答え 1 漢字	古墳時代に大陸の進んだ技術や文化を持った人々（渡来人）が日本列島へ移住した際、儒教や仏教とともに伝えられたのが漢字です。これにより、それまで文字を持たなかった日本において、出来事の記録や政治的な文書の作成が可能となりました。ひらがなやカタカナは、後にこの漢字を崩したり、一部を取ったりすることで日本独自の文字として発展したものです。
問5	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問6	答え 3 密閉された穴窯などを用いて高温で焼かれ、硬く灰色をしている。	須恵器は朝鮮半島の技術に基づき、山の斜面などを利用した穴窯の中で、空気を制限しながら高温で焼き上げられます。この過程で化学反応（還元炎焼成）が起きるため、土器の色が灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器は、弥生土器の流れを汲む伝統的な野焼きの手法で作られていました。
問7	答え 2 渡来人	4世紀から5世紀以降、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住んだ人々は、土器の製作、織物、灌漑などの技術とともに、それまで日本にはなかった文字（漢字）や、精神的な教えである仏教をもたらしました。彼らはその知識や技術を活かし、古代国家の形成において重要な役割を果たしました。
問8	答え 2 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。	渡来人は当時の日本にはなかった高度な技術を多数持っていました。硬くて灰色の土器である「須恵器」の製作、養蚕や機織り、金属の加工といった生産技術のほか、漢字や儒教、仏教などの文字や宗教も彼らを通じて伝えられました。これにより、日本の政治や生活様式は大きく変化しました。
問9	答え 4 倭の五王	5世紀に中国へ使者を送った5人の王は「倭の五王」と呼ばれます。当時の日本（倭国）は、東アジアの国際情勢の中で有利な立場を得るため、中国皇帝を中心とした冊封体制（朝貢外交）に加わり、自らの権威や軍事的な指揮権を証明する称号（官職）を求めて外交を展開しました。
問10	答え 4 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問11	答え 3 前方後円墳	前方後円墳は、円形と方形を連結させた日本独自の形状を持つ古墳です。5世紀にはその築造が最盛期を迎え、近畿地方から離れた地域でもこの形式が採用されたことは、各地の豪族が大和政権の支配体系に組み込まれていった過程を物語っています。
問12	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたると考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。
問13	答え 4 須恵器	古墳時代には朝鮮半島から渡来人によって新しい製作技術が伝えられました。それまでの日本列島で伝統的につくられてきた、野焼きで赤褐色の土師器に対し、須恵器は密閉された窯を用いて高温で焼成されるため、灰色で非常に硬い仕上がりになります。この技術革新により、より実用的で堅牢な容器の生産が可能になりました。
問14	答え 4 渡来人	朝鮮半島における戦乱や政治的変動を背景に、日本列島へ移り住んだ人々を指します。彼らがもたらした漢字は記録手段として、儒教は政治理念として、また須恵器や鉄器の製作技術は人々の生活や軍事力を向上させる大きな力となりました。ヤマト王権はこれらの人々を組織に組み込むことで、国家の基盤を固めていきました。